

パネルディスカッション

学校・家庭・地域が変わる 道徳教育

～学校・家庭・地域との連携で進める道徳教育～

教育基本法から

(教育の目的)

第一条

教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

道徳性とは、人間としての本来的な在り方やよりよい生き方を目指してなされる道徳的行為を可能にする人格的特性であり、人格の基盤をなすものである。

(學習指導要領解說道德編)

(教育の目標)

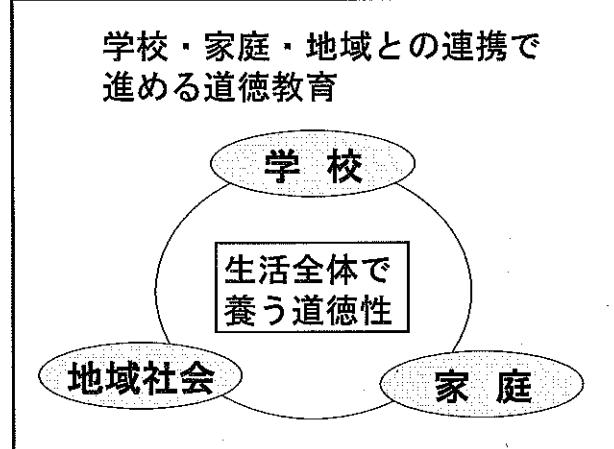
- 一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛すとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。



パネラー

- ◆ 京都教育大学 准教授 岡部美香
 - ◆ 呉市立三津口小学校 P T A 会長 桐山達也
 - ◆ 安芸高田市立高宮中学校 教諭 永井博美
 - ◆ 庄原市立東小学校 教諭 出口靖
 - コーディネーター
 - ◆ 広島県教育委員会指導第三課 指導主事 山田幸治

パネルディスカッションの骨子

- 学校・家庭・地域との連携で進める道徳教育の意義について
 - 学校・家庭・地域との連携で進める道徳教育の実際について
 - 学校・家庭・地域との連携で進める道徳教育を推進するための今後の取組みについて

児童にとっての意義

- 深く
- 広く



保護者参加型
道徳授業



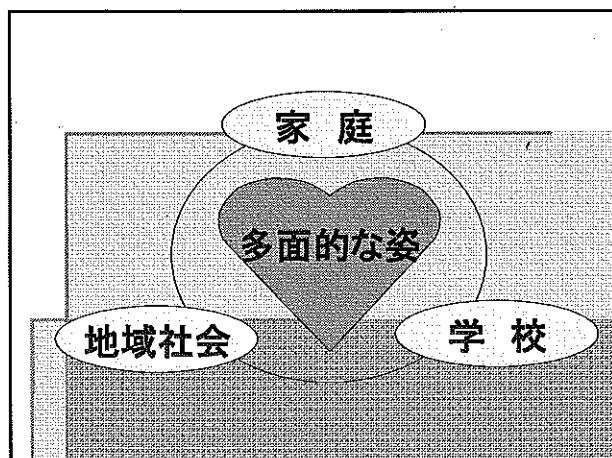
保護者・地域の方の読み聞かせ



児童の読み聞かせ

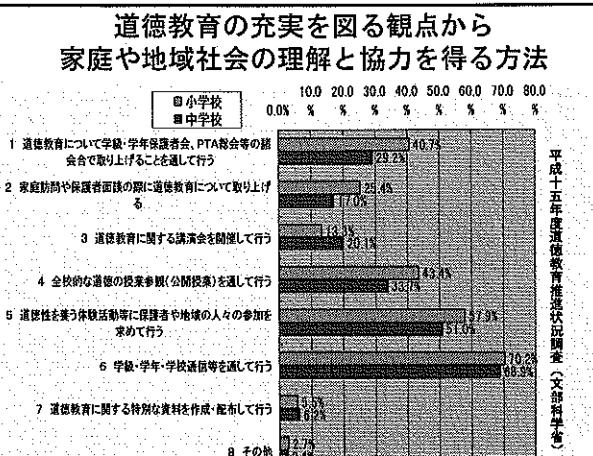
教員にとっての意義

- 多面的に生徒を見られる
- よりねらいに迫れる



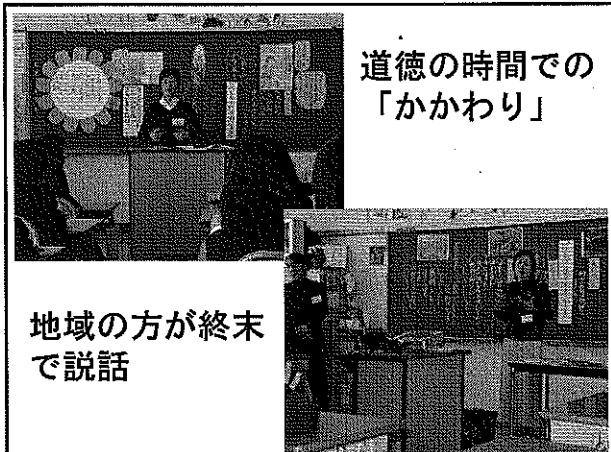
家庭・地域にとっての意義

- 地域力
- 多様な価値観に触れる



児童の変容が見られた事例

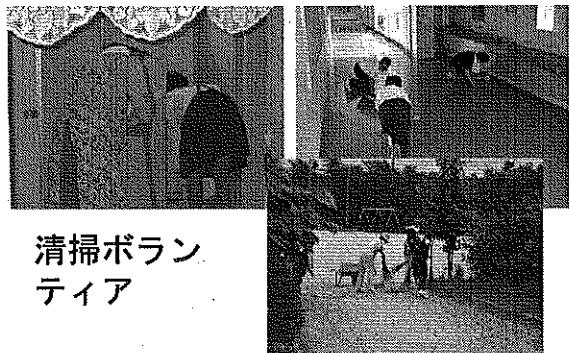
●かかわり



セミナーに於ける意見と議論

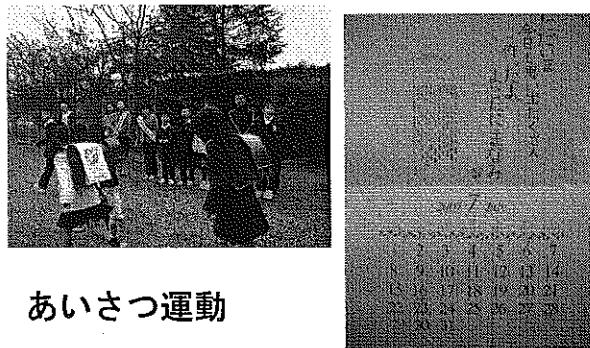
い問題ですね。こんな簡単な問題に自分がなりに答える出すなんぞ少しも思はざるといふ感想します。でもそれは心が素直だからかもしれません。子ども達には正しい心をもつてもらいたい。親もそれをすればいいと認めてあげたいです。子とも遙か一人一人捉え方感じ上りが様々であるほどと思ひながら聞きました。一人一人の違いをそのまま意見としてみんなの前に出せるとこはいいですね。突然の指名には、ドキドキしてしまいました。我が息子もハラハラたつたことでしょう。

道徳教育（教育活動全体）での 「かかわり」

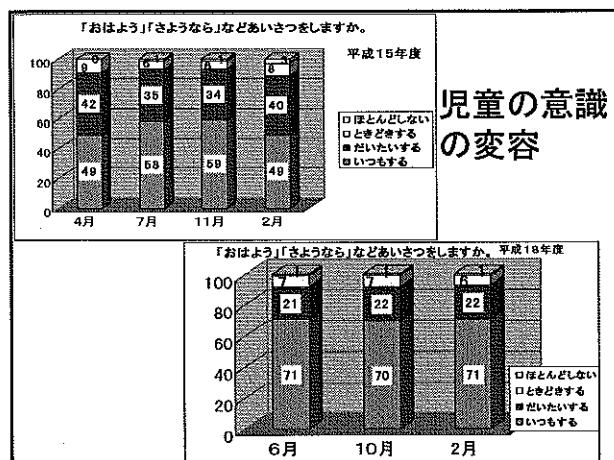




学校・家庭・地域が「一体」

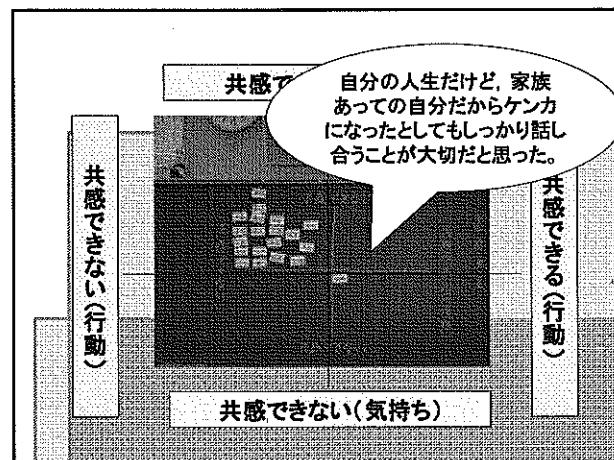


あいさつ運動



教員の変容が見られた事例

- 子どもの見方がかわる
- 本気で授業づくりをする
- ネットワークの重要性の自覚



「缶コーヒー」



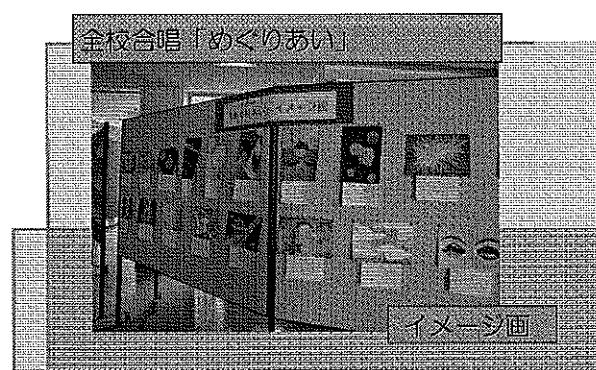
合唱コンクール



掲示物の充実



掲示物の充実

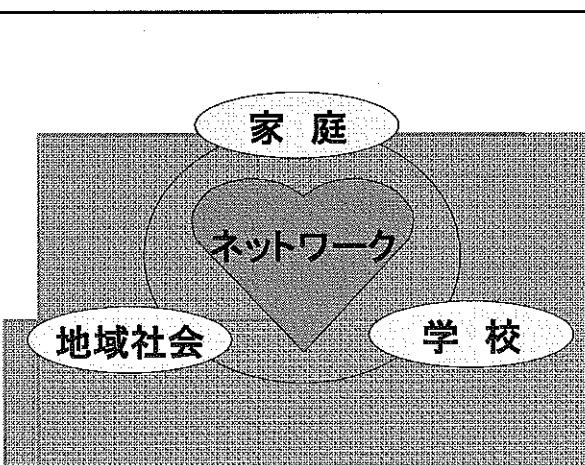


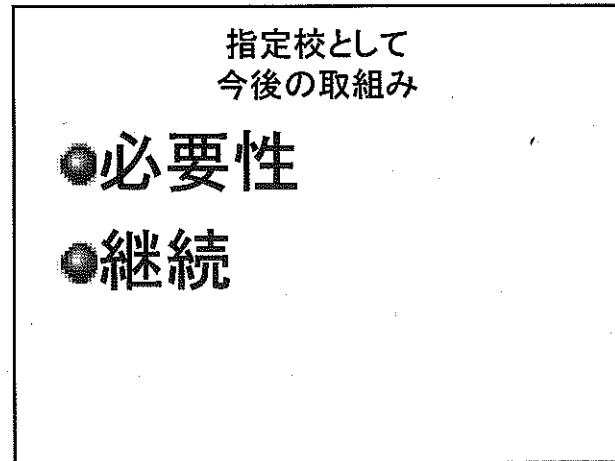
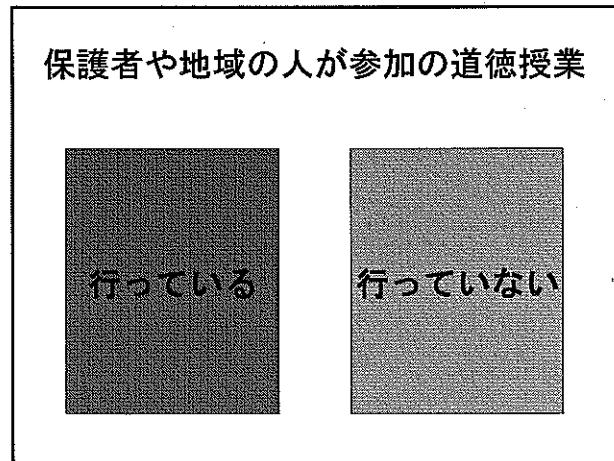
お年寄り訪問



保護者・地域の人の変容が見られた事例

- 交流から連携へ
- 参加
- 交流
- 連携





道徳教育推進リーダーとして
今後の取組み

- 情報発信の日常化
- 絆・広がり・深まり

家庭・地域として
今後の取組み

- 深まり
- 広がり

